

< 機械・農作業の共同化に取り組む事例 >

共同活動による農地の管理

1. 集落協定の概要

| | | | | |
|----------------|-----------------|-------|-----------------|-----------|
| 市町村・協定名 | 山口県防府市・久兼中村 | | | |
| 協定面積 16.0ha | 田 (100%) | 畑 | 草地 | 採草放牧地 |
| | 水稲、レンゲ | | | |
| 交付金額 277万円 | 個人配分 | | | 50% |
| | 共同取組活動 (50%) | 役員手当 | 水路・農道管理費 | 4% |
| | | 集落会合費 | その他事務費等 (積立を含む) | 24% |
| | | | | 4% |
| | | | | 18% |
| 協定参加者 | 農業者 43人 非農家 0人 | | | 開始：平成13年度 |

2. 取組に至る経緯

防府市の北部、久兼地区のほぼ中央に位置する久兼中村集落では、年々農業従事者の高齢化や担い手、後継者の不足によって農地の適正管理が難しくなっていた。こうした中、平成 12 年度に本制度がスタートし、1 年遅れながらも平成 13 年度に集落協定を締結した。協定農用地面積 16ha、協定参加農業者 37 人でスタートした本協定は、現在 (平成 23 年度) では、協定参加農業者は 43 人に増え、市内最大規模の集落協定になっている。

3. 取組の内容

年間を通して主に共同草刈作業、共同防除作業を行っている。平成 23 年度は草刈作業 14 回、防除作業 2 回、イノシシの防護柵の設置・点検を 6 回行い、多くの協定参加者が農地管理活動に汗を流した。1 人ではなかなか出来ないことも多人数でやれば効率良く作業することが出来た。協定活動により、集落としての結びつきも強まっている。

また、多面的機能を増進する活動としてレンゲの作付け推進を行い、美しい棚田景観の創出にも一役かっている。持続可能な支援体制の構築のために、参加者の中で作業や活動の役割を決め、それぞれが自覚を持って協定に参加している。これからもこのような活動が途絶えないように、集落内でよく話し合い、美しい棚田を守っていきたい。



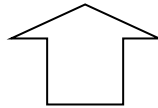
【美しい景観】



【共同草刈作業】

[集落の将来像]

農地集積対象者を中心とした農業生産活動等の体制整備
集落ぐるみの農業生産活動等の体制整備
地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備

農業生産活動等

農地の耕作・管理(田 16ha)
個別対応

水路・作業道の管理
・水路の清掃、草刈り
(随時)
・道路の草刈り (随時)
共同取組活動

農地法面の定期的な点検
(随時)
担い手中心

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り
(随時)
共同取組活動

景観作物(レンゲ)の作付け
共同取組活動

その他の活動

イノシシ防護用電柵及びバッテリー等の点検
共同取組活動

防除作業
共同取組活動

4 . 今後の課題等

- ・協定参加者の高齢化
- ・後継者の育成
- ・役員の担い手不足

[第2期対策の主な成果]

協定農用地の耕作放棄地化の阻止
レンゲの作付けによる美しい棚田景観の創出
イノシシの捕獲
話し合い活動の活発化
共同作業回数の増加